

広報清内路



村政かわら版

清内路村役場

〒395-0401

清内路村 375-1

TEL: 0265-46-2001

FAX: 0265-46-2016

E-mail: info@seinaiji.jp



無報酬で村を支える役場応援団が発足

村内外から 11 人の様々な人材が集う



広報活動や施設の修繕を応援

役場業務を無報酬で手伝う「役場応援団」は、10月28日（金）役場会議室で結団式を行い、村内外から集まった9名に委嘱状が交付されました。

後日、2名に委嘱状が交付され、計11名で活動をスタート。内外の注目を集める中、団員は、早速、広報活動や道路修繕などを開始しています。

団長に治文さんを選出

まず、団長に櫻井治文さんを選出。その後行われた戦略会議において、こうほう支援隊長に門野美和子さんを、しょうは救助隊長に櫻井成人さんを選出しました。

役場からは、ボランティア保険や勤務条件などについてご説明しましたが、「ボランティア保険は自分たちでかけよう」とのご提案が出され、村長が恐縮する一幕も。

当面の活動

こうほう支援隊

村の広報活動を支援するこうほう支援隊は、村なかの情報を取材しています。早速、

11月6日(日)に行われた清水巡りの模様がホームページに掲載されました。アンケートの集計や文書配布もお手伝いいただいています。

しょうは救助隊

小規模な破損を救助するしょうは救助隊は、エリアごとに担当を決め、都合のいい時間に道路パトロールを行い、簡易な修繕を行っています。

まだまだお手伝いいただける仕事があるかもしれません。どうぞ、皆様のお知恵とお力を、村にお貸しください。

団員名簿 (敬称略)

しょうは救助隊					こうほう支援隊				
氏名	住所	氏名	住所	氏名	住所	氏名	住所	氏名	住所
伊藤浩志	清内路村	門野美和子	"	原京子	"	藤本貴史	泰阜村	木下あかき	阿智村
櫻井俊数	"	櫻井成人	"	櫻井貴美子	清内路村	櫻井三照	"	櫻井幸恵	"
櫻井治文	"	櫻井俊数	"	櫻井三照	"	櫻井俊数	"	櫻井三照	"
櫻井幸恵	"	櫻井三照	"	櫻井治文	"	櫻井幸恵	"	櫻井三照	"

合併問題の研究會 発足で一致

村議会とやらまい改えまい懇談会は、11月7日(月)、老人福祉センターで「合併問題について考える懇談会」を開き、合併問題について、意見交換を行いました。

懇談会からは、「なぜこのような事態を招いてしまったのか」とするご意見が続出しましたが、「議会と懇談会がともに手を携え、合併問題を考える、共同の研究會、検討會を設立しよう」とするご提案が出され、参加者の賛同を得ました。いよいよ、本村のみ立ち遅れていた合併論議が始まることとなりそうです。



中学生の質問に感心

11月21日(月)、ごも村議会が行われ、清内路中の一年生が一般質問に立ちました。議長や登壇者の発言は実に丁寧で聞きやすいもので、「村のために私たちもできることがある」とする立派な質問に、理事者や傍聴者も感心しきりでした。

橋上好郎先生 村にAEDを寄贈

心肺停止状態の方の救急機械「AED」(除細動器)は、機能の進歩により、一般の方でも扱えるようになりました。救急車などにも配備されていますが、一刻も早くAEDを施すことで、蘇生率が格段に向上するため、多くの方々が集まる場所等にあらかじめ設置しておく自治体が急速に増えています。しかし、深刻な財政難にある清内路村では、購入することが難しく、補助団体からいただくことも、今年度は無理な状況でした。

そこで、これを知った本村診療所長である医療法人健生



会理事長 橋上好郎先生がAEDを寄贈してくださいました。「今一番ほしいものをいただき本当に感謝しています。講習をしっかりと行なって非常時に備えたい。」と村長 橋上先生は「こうした機械は使わない事に越した事はないが安心のためにお役に立てば」と仰られています。



村の財政を支える コモンスハウス

以前、「お年寄り向け賄付アパート入居意向調査」を行いました。財政難の折、なぜコモンスハウスを設置するのかわからない、というご意見をいただきましたので、設置の趣旨をご説明いたします。

養護老人ホームに1千万

現在、村から養護老人ホーム(常時介護は不要)へは4名の方が入所されています。これらの方々に要する経費

は、村が毎月1人当たり約5万円(4分の1を村、4分の3を国と県)を支払っています。したが、平成17年4月から制度が改正され、全て村の負担となりました。毎月1人当たり約20万円の支出で、総額は年間1千万円近くになります。

このため、新たに養護老人ホームに入所していただくことは、大変難しくなりました。(この他に入所者本人にも自己負担があります。)

赤字は当然、より安く

そこで、住み慣れた清内路で、お得で安全に暮らしていただける、お年寄り向け賄付

アパート(コモンスハウス)の設置をご提案したのです。村が支出する経費は、6〜

8人の入居者で、1人5万円強(食費、光熱水費、家賃他)の自己負担をいただければ、年2百万円〜3百万円に抑えられます。養護老人ホーム1人の経費で6〜8人が安心して暮らせるわけです。さらに、冬期間の入居や、緊急宿泊など、多面的な利用が期待できます。当然、改修経費は必要ですが、財政的にも、サービスの面でも、投資する価値は十分にあると言えるでしょう。

アンケート結果等

アンケートでは、アパートの設置について、「是非作って欲しい」、「どちらかと言えばあった方がよい」を合わせて55.7%の肯定的なご意見をいただきました。また、行財政改革推進委員会でも、遊休施設を改修して設置しては?とするご意見を頂戴しました。引き続き設置を検討していきたいと考えております。

